

# 仕 様 書

## 1 委託業務名

中分子 IT 創薬等ライフサイエンス分野への事業進出促進・連携強化に向けた調査とそれに基づく施策立案

## 2 目的

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（以下「地域イノベ」と言う）活動の一環として、IT・ものづくり企業等を対象に中分子 IT 創薬などライフサイエンス分野への事業進出促進や連携強化を目指している。これまでも『中分子創薬に関わる次世代産業研究会』（以下「IMD<sup>2</sup>」と言う）を核とした有益なネットワーク形成支援やシーズニーズのマッチングを進めてきた。そこで、更なる推進のため、平成30年度は川崎市を中心としたIT企業のヘルスケアセクターへの興味や所有する中核技術の調査を実施し、施策立案のための有用な情報が得られた。

本年度は「地域イノベ」の活動の市内・市域企業への波及・発展を更に進めるため、昨年度の調査結果を踏まえて、本事業の関連領域において次世代事業・産業創出に寄与できる候補企業の情報収集や他のバイオクラスターの施策に対するベンチマークなどの調査を行い、具体的な施策立案を実施する。

## 3 履行期間：契約締結日から令和2年（2020年）1月31日（金）まで

## 4 履行場所：エコシステムの形成は川崎市域（川崎市を中心に横浜市、品川区、大田区等の近隣地域を加える）とするが、本調査の対象企業・団体・機関などは川崎市域に限定するものではない（国内外問わない）。

## 5 委託内容（仕様）

平成30年度（2018年度）に、川崎市産業振興財団（以下「財団」と言う）が東京工業大学と川崎市と協同で推進している地域イノベ「IT創薬技術と化学合成技術の融合による革新的な中分子創薬フローの事業化」の中のプロジェクトの一つである基盤構築プロジェクトの取り組みを踏まえ、川崎市域を中心としたIT・ものづくり企業等に対し調査趣旨を説明の上、企業訪問によるヒアリング調査を実施した。

受託者は、平成30年度（2018年度）の委託調査結果やその施策提案内容（※1）を鑑み、施策立案に必要な調査を行う。それに基づき、地域イノベの基盤構築事業の推進ならびに事業プロデュース活動に有用な施策について、実施可能な提案を行う。（※2）。

（※1）平成30年度調査結果については、【別紙1】平成30年度調査報告書サマリーを参照。

（※2）施策提案までの全体の流れについては、【別紙2】施策提案のワークフローを参照。

## (1) 調査・施策立案前打合せ

受託者独自の施策を考案できるように、財団、川崎市、東京工業大学と事前打ち合わせを行い、地域イノベの内容、特に基盤構築事業ならびに事業プロデュース活動に加えて、平成30年度（2018年度）委託調査結果をよく把握する。

## (2) 各種リストの作成ならびにヒアリング・ベンチマーク調査の実施と施策提案書の作成

### (ア) ヒアリングならびにベンチマークの調査対象リスト作成と調査の実施：

平成30年度作成された施策案リストを参考に、ヒアリングならびにベンチマークを実施する調査対象を選定しそのリストと「調査様式」を作成し、調査を実施する。

- ・ 事業推進につながるよう、受託者がヒアリング先に当該事業説明を行った後、「調査様式」ならびに施策提案に基づくヒアリング調査を15件程度実施する。なお、ヒアリング調査の質問票は「調査様式1」として作成し、事前に財団との間で合意するものとする。また、ベンチマークを実施する際も同様に質問票と調査項目を「調査様式2」として作成し、事前に財団との間で合意するものとする。ベンチマーク調査の方法に関しては、ヒアリングに限らず、インターネット等のオープンデータベースを使った調査も可能で、事前に財団との間で合意するものとする。
- ・ 財団及び川崎市はヒアリングあるいはベンチマーク調査に適宜同行する。

### (イ) 施策提案書作成：

ヒアリングならびにベンチマーク調査を通して得られた情報や受託者の実績・経験などから、IMD<sup>2</sup>を核としたネットワーク構築、将来にわたる本領域におけるエコシステム形成、市内・市域企業への波及・発展に繋がる施策提案と、事業化プロジェクトに寄与できる施策提案書を5提案以上作成する。

## 6 施策立案におけるエフォートの管理

受託者は、事前に施策立案調査にかかるエフォートを地域イノベの基盤構築事業（創薬に関わる次世代産業創出・育成）と事業プロデュース活動（中分子医薬のIT創薬事業関連）の推進に分けて管理する。なお、エフォートの管理方法については事前に財団と協議の上で実施する。

## 7 報告書等の納品と進捗報告会、サマリー報告会の実施

### (1) 納品

受託者は、契約書に定める履行期限を厳守し、以下のものを書面と電子データ（ワード、エクセル、パワーポイント形式）の両形式にて納品する。また、提出資料の中に記録写真等が含まれている場合は、こちらの電子データも併せて提出する。

#### (ア) ヒアリングならびにベンチマーク調査実施リスト（企業・団体・機関など）

#### (イ) ヒアリングならびにベンチマーク調査記録

- 調査様式1と2をベースに、施策提案に基づく項目があれば各調査様式に追加
- (ウ) 進捗報告ならびにサマリー報告会発表資料
  - (エ) 実施報告書
  - (オ) 施策提案書

(2) 進捗報告会、サマリー報告会

進捗ならびに調査委託結果について財団並びに地域イノベ関係者に向けて進捗報告会ならびにサマリー報告会を実施する。なお、進捗報告に関しては月1回程度とし、スケジュールについてはサマリー報告会と併せて別途相談する。

8 検査

本仕様書に基づき、検査員が検査を行う。

9 その他

- (1) 本委託に係る費用の一切は、契約金額に含むものとする。
- (2) 本委託の実施においては、財団と連絡を密にするとともに、その指導に従うこと。
- (3) 契約後、本仕様書に定める事項等に疑義が生じた場合、担当者と協議の上指示に従うこと。
- (4) 本委託を実施するため財団から提供された情報について、本委託以外の目的に使用しないこと。
- (5) 本業務の実施に当たって、再委託を行う場合は、事前に財団と協議を行い承認を得るものとする。
- (6) 本委託により知り得た情報について、財団に許可なく外部に漏らしてはならない。
- (7) 受託者の責任に起因する問題が発生した場合は、受託者は自己責任においてこれを修復するものとする。
- (8) 本委託の目的を達成するために、本仕様書に明示されていない事項で必要な作業が生じたときは、財団と受託者が協議を行うものとする。
- (9) この仕様書の内容は受託者と協議の上、変更することができるものとする。

以上



## 報告書/要約

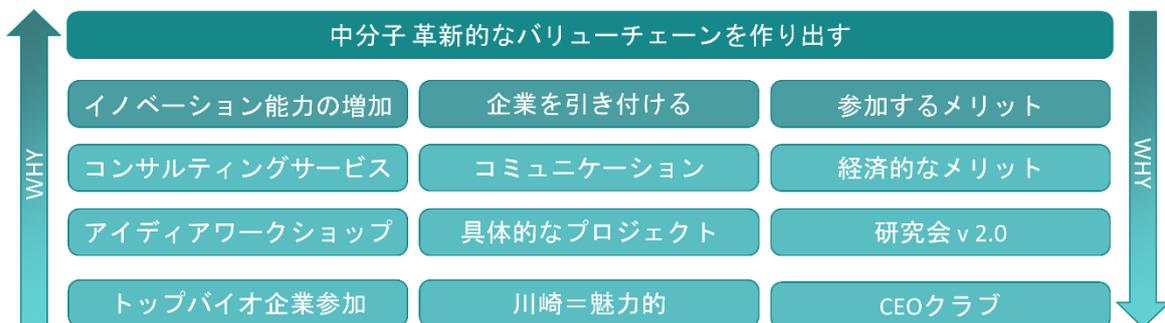
### 中分子 IT 創薬等ライフサイエンス分野への事業進出促進・連携強化に向けた調査

文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム(地域イノベ)」の一環として、平成30年度は川崎市を中心としたIT企業のヘルスケアセクターへの興味や所有する中核技術のヒアリング調査を実施し、エコシステム形成のための施策立案のための有用な情報を得ることができた。調査は、前回平成29年度調査から本プログラムに興味を示していた約70社を抽出し、さらにWeb検索で約20社を加えた90社に実施した。

- 川崎市周辺にはIT企業が集積していることから、地域イノベにおける事業プロデュース活動<sup>1)</sup>の基盤となる技術と人材の宝庫と言える。このような技術人材のプールは、事業化プロジェクト<sup>2)</sup>の推進にも大きなプラス要因となる。
- 川崎市はビジネス地域であり、新しいイノベティブなアイデア、製品、およびパートナーシップにより新たなIT創薬の場が生まれる場所になる可能性がある。そのためには、お金と企業を引き付けるためのインフラ構築をする必要がある。
- メディアの活用により、より多くの企業や一般の人々にプロジェクトの情報提供や関心を喚起することが出来る。

## 提 案

調査結果よりIT創薬のイノベティブなバリューチェーンを構築するため、1)イノベーション能力の増加、2)企業を引きつける施策、3)エコシステムに参加することのメリットなど以下の戦略が考えられる。



- IT創薬のイノベーション能力の増加のため、1)主要分野でコンサルティングサービスを提供すること、2)アイデアワークショップを開催して多様なチームで働くことをメンバーにトレーニングしたり慣れ親しませたりすること、さらに3)地域のイノベティブなバイオテクノロジーベンチャー企業にネットワークへ参加する様に積極的に招待及び働きかけることなどが考えられる。
- 企業を引きつけるため、コミュニケーションとメディアを活用すること、具体的なプロジェクトを立ち上げること、そして川崎市をビジネスと研究開発の場としてより魅力的なものにすることで、より多くの企業を参加させることが可能となる。
- 参加するメリットとして、経済的なメリットがあること、ビジネスセミナーをより魅力的なものにすることで、そしてCEOが特定の問題に取り組むためのクラブを設立することなどを実施することにより、ネットワークの一員としてのメリットを感じさせることが可能となる。

以上

- 事業プロデュース活動とは、事業化プロジェクトを推進、支援する活動
- 事業化プロジェクトとは、具体的に技術の社会実装のためベンチャー等を立ち上げるプロジェクト

# 【別紙2】 施策提案のワークフロー

平成30年度調査結果

受託者独自のネットワーク  
財団・川崎市・東工大との打合せ

例

## ① 施策案リスト

中分子創業に関わる革新的なバリューチェーンを作り出す		
イノベーション能力の増加	企業を引き付ける	参加するメリット
コンサルティングサービス	コミュニケーション	経済的なメリット
アイデアワークショップ	具体的なプロジェクト	研究会 v 2.0
トップバイオ企業参加	川崎＝魅力的	CEOクラブ
新規アイデア	新規アイデア	新規アイデア

## ② ヒアリング・ベンチマーク調査

ヒアリング調査  
ベンチマーク調査

問合先リスト

調査様式1  
ヒアリング  
質問票

調査様式2  
ベンチマーク  
調査票

## ③ 施策提案書 (実施可能な施策リスト)

施策3

施策2

施策1

・実施計画 等